

令和7年度
第36回 兵庫県スポーツ少年団空手道交歓大会
開催要項

1. 趣 旨

兵庫県下のスポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図るため、空手道交歓大会を開催する。大会を開催することにより、団員に競技する喜びと経験する機会を広く提供し、スポーツを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めるための、より良い研修の場となることを目的とする。

2. 主 催 公益財団法人兵庫県スポーツ協会兵庫県スポーツ少年団

3. 後 援 兵庫県教育委員会、神戸新聞社、(公財) グローリー小学生育成財団

4. 主 管 兵庫県スポーツ少年団空手道専門部会

5. 期 日 令和7年 8月24日(日) 午前9時00分 開会式

6. 会 場 兵庫県立武道館 (姫路市西延末504番地 TEL 079-292-8210)

7. 競技規定 全日本空手道連盟競技規定に準じる。

※大会の細則についてはスポーツ少年団の理念のもと以下のとおりとする。

8. 競技方法(形・組手共通)

① 空手着は白無地とし、安全具は指定のものを使用する。

② 白帯を着用する。

③ 金属のヘアピン等は着用禁止です。

9. 競技方法(形)

① 幼年～U18までの個人形競技

ア、フラッグ方式とする。

イ、幼年から小学2年生は決勝戦まで同じ形を使用しても良い。

ベスト4以降は基本形、指定形で形を変えても良い。

ウ、小学3年生から中学3年生はベスト8までは全空連基本形にて行い、ベスト4以降は全空連基本形及び指定形とし、一度使用した形は認めない。

エ、U18は、ベスト8までは全空連指定形にて行い、ベスト4以降は全空連指定形もしくは得意形とし、一度使用した形は認めない。

エ、選手は横から入り、形終了後後ろに下がり判定を待つ。

10. 競技方法(組手)

① 個人組手競技・ダブルスゲーム組手競技

ア、競技時間は幼・小・中学生は1分、高校生(U18)は1分30秒、フルタイムとする。

イ、勝敗は6ポイント先取(6ポイントを上限する)、若しくは競技終了時にポイントの多いほう

を勝者とする。

終了時先取なしで同点の場合は判定とする（一本技ありは勝敗の基準に入れない。）

ウ、1回戦はテーピングはできません。（医師のメディカルチェックを受けて下さい。）

エ、胴当ては、「中づけ」とする。

オ、拳サポーターは「赤・青」。幼年・小学生は「赤・青のリバーシブル」も可とする。

カ、ダブルスゲーム組手競技は、幼児、小学1・2年、小学3・4年、小学5・6年 男女混合4種目とする。 エントリーは1団体3種目までとする。

男女混合は男子2名・女子2名・男子1名女子1名 での出場が可能である。

競技形式は個人組手競技と同様とする。

※ ダブルスゲーム組手競技の詳細については、「ダブルスゲーム組手解説.pdf」でご確認ください。

② 安全具の着用について

競技者区分	拳サポーター	胴当て	メンホー	ファールカップ	インステップ・シンガード
幼・小学男子	○	○	○	○※	○
幼・小学女子	○	○	○	×	○
中学男子	○	○	○	○	○
中学女子	○	○	○	×	○
U18男子	○	○	○	○	○
U18女子	○	○	○	×	○

※1 幼年、小学1・2年の男子のファールカップは保護者で任意とします。

※2 出場者全員、上記に指定された安全具を着用していない選手は失格となります。

※3 中学生以上はファールカップについて口頭で確認します。

1.1. 参加資格

- ① 令和7年度日本スポーツ少年団登録をした単位団及び団員であること。
- ② スポーツ傷害保険に加入していること。
- ③ 保護者・主管者が参加承認をした者であること。

1.2. 参加制限

出場を次の通りとし、「形競技」「組手競技」とも男女別とする。但し、ダブルスを除く。

種目	形	組手
幼年（男子・女子）の部	○	○
小学1年生（男子・女子）の部	○	○
小学2年生（男子・女子）の部	○	○
小学3年生（男子・女子）の部	○	○
小学4年生（男子・女子）の部	○	○
小学5年生（男子・女子）の部	○	○
小学6年生（男子・女子）の部	○	○
中学1年生（男子・女子）の部	○	○
中学2年生（男子・女子）の部	○	○
中学3年生（男子・女子）の部	○	○

高校生（男子・女子）の部（U18）	○（16～18歳）	○（16～18歳）
幼児（男女混合）ダブルスゲーム組手		○
小学1・2年生（男女混合）ダブルスゲーム組手		○
小学3・4年生（男女混合）ダブルスゲーム組手		○
小学5・6年生（男女混合）ダブルスゲーム組手		○

(注) 申込み人数により、種目の統合・廃止や判定方法の変更をすることがあります。

1.3. 参加申込み

① 申込み方法

- トーナメント作成時の誤字防止のためメールでの受付とする。エクセルデータを送付しますので以下のアドレスに申込してください。

※送信後、3日以内に連絡が無い場合は、不着の可能性がありますので、必ず下記へ電話連絡をしてください。

Eメールアドレス : hspo-karate@nrjp.com

申込確認用TEL : 078-262-6676 KICで電話に出ます。

- 同時に、指導者名簿・団員名簿（手続き上、認定が間に合わない場合は登録画面のコピーでも可）の送信（または郵送）をしてください。登録が確認出来ない場合は受付は出来ませんのでご了承ください。

□ 申込み内容と、ゼッケンに関するお問合せ先

〒 651-0056 兵庫県神戸市中央区熊内町 5-9-19 株式会社 ケイ・アイ・シー 担当 佐藤、松岡 TEL : 078-262-6676 FAX : 078-262-6674 E-Mail : hspo-karate@nrjp.com
--

□ 全体のお問合せ先

〒678-0053 兵庫県相生市那波南本町 2-20 兵庫県スポーツ少年団空手道専門部会 事務局 八張 泰徳 TEL : 090-4036-4544 E-Mail : yahari620203@outlook.jp

- ② 申込期日 令和7年 7月10日（木） 必着 ※以降は受付できません。

<以降のスケジュール>

7月10日～16日 申込内容を、メールでお送りしますので、必ず確認してください。

7月20日 抽選 ※これ以降、変更できません。

1.4. 参加料 1種目 1800円

- 納入方法 7月15日（火）までに単位団ごとに三井住友銀行振込にて納入する。

開催が中止になった場合以外、返金はできません。

振込先	三井住友銀行 姫路支店 普通 9817901
加入者名	兵庫県スポーツ少年団空手道専門部会

15. 表彰 上位3位まで賞状を授与する。

16. 抽選会 兵庫県スポーツ少年団空手道専門部会でコンピューター抽選にて行う。

17. 個人情報の取扱いについて

参加申込みにかかわる主催者・主管者が取得した各個人情報については、個人情報の観点から、適正に取り扱うものとする。取得した個人情報については、大会の資格審査、大会運営上必要なプログラム編成及び作成、大会時のアナウンス、大会結果掲載にかかわること（表彰、掲示板、大会記録集、報道関係への提供）その他大会運営及び大会開催に必要な連絡等にものみ利用する。

18. 連絡事項

- ① 単位団は必ず団旗を持参すること。
- ② 参加選手は健康保険証を持参すること。（コピー可）
- ③ 大会競技中に生じた疾病、傷害に対し、主催者は応急処置のみ行い、それ以外の責任を負わない。
- ④ ゴミは必ず持ち帰ること。貴重品等の持ち物は各単位団の責任において管理すること。
- ⑤ 選手について

ゼッケンには、フルネームで、黒で記入する。

サイズ：横約20cm×縦約15cm

空手 太郎

<お知らせ> ゼッケンの斡旋販売も行っております。1枚180円です。

形と組手で道着を分ける場合は2枚購入で360円になります。

- ⑥ 当日、午前6時の時点で播磨南西部（会場周辺）において警報が発令された場合は大会を中止します。
- ⑦ 兵庫県スポーツ協会の感染拡大予防ガイドラインに沿って運営を行います。それに伴い大会を縮小・中止、もしくは形のみ実施する可能性があります。感染症対策は大会連絡事項にて通知します。
- ⑧ 関係者以外は競技場内への立ち入り禁止。
- ⑨ ビデオ撮影及びカメラによる審判へのクレームは受けません。
- ⑩ 競技場でのドリンク類の持ち込みは競技に邪魔にならないように許可します。
養生シートの上に水滴が床に落ちないようにタオルで包む。

ダブルスゲーム組手とは？

今回、新たに種目に加えたダブルスゲーム組手は、これまで練習で行って絶大な効果を得られたものです。個人では勝てない選手でも、ペアになることで役割が生じ、工夫次第でいくらかでも勝つことが可能です。

強い選手よりも、機転の利く選手が勝つ。それがダブルスの魅力です。

I、ルール

- 1、2人1組となり、相手と2対2で同時に、組手試合を行います。
- 2、ルールは、従来のものと同じです。

II、戦法

- 1、クロス攻撃
2人が正面の相手と対峙し戦っている時、隙を見て斜めにいるもう一方の相手に攻撃を仕掛ける。
- 2、2対1攻撃
相手の距離を離してそれぞれを孤立させ、2人で1人のみを攻める。
- 3、囷作戦
1人が囷役として前に出て、相手チームが2人ともその1人を攻めようと前に出た時に、囷役が下がりもう一人が側面から攻める。

III、ダブルス組手の効果

- 1、チームワークを学ぶ。
自分だけでなく相手と仲間と協力して戦う必要があり、チームワークが必要になります。
- 2、判断力がつく。
相手が隙を見せた瞬間に攻めると簡単にポイントが取れます。相手と自分たちとの間合いの取り合いや攻防中に、隙が生じた瞬間に攻めるといった判断力が要求されます。
- 3、役割ができる。
強いものが2人組んでも勝てるとは限りません。むしろ、小さな選手や比較的勝てない選手が囷役となり、もうひとりが隙を見て相手を攻撃できるチームが勝ちます。
個人戦では強い選手とそうでない選手がハッキリしますが、ペアになることで個々の実力よりも、チームワークが重視されます。

IV、参考映像

参考映像を YouTube にアップしたので、下記のリンク、又は右のQRコードからご覧ください。

<https://youtu.be/iKFloZL3Po4>

